

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成30年8月21日)

- 1 平成30年度普通交付税（市町村分）の交付額について
【地域振興課】・・・1ページ
- 2 モンゴルにおけるワールドマスタースゲームズ2021関西のPR等について
【スポーツ課】・・・4ページ
- 3 スポーツによる共生社会実現を目指した拠点整備についての日本財団承認について
【スポーツ課】・・・5ページ
- 4 県スポーツ指導員の第22回世界相撲選手権大会優勝について
【スポーツ課】・・・6ページ
- 5 ジャマイカ陸上競技セミナーの開催について
【スポーツ課】・・・7ページ
- 6 スポーツライミング日本代表合宿（倉吉体育文化会館）の結果について
【スポーツ課】・・・8ページ

地 域 振 興 部

平成30年度普通交付税（市町村分）の交付額について

平成30年8月21日
地域振興課

7月24日、総務大臣により、平成30年度普通交付税の交付額が決定されました。
本県における市町村分の交付額等の概要は以下のとおりです。

1 平成30年度普通交付税（市町村分）の交付額の概要

- 普通交付税の算定において、臨時財政対策債を含めた実質的な普通交付税は882億円となり、前年度に対して△17.5億円となった。前年度との比較においては全国値△2.5%に対して、本県は△1.9%となった。
- 今年度より中核市に移行した鳥取市については、保健所や連携中枢都市圏に係る経費（保健衛生費、地域振興費等 合計8.6億円）が新たに算定されることに伴い、前年度に対して増（+1.6億円、+0.7%）となった。

<本県の決定額>

(単位：千円、%)

区分	普通交付税額				普通交付税額+臨時財政対策債(※)発行可能額			
	30年度 A	29年度 B	増減額 C(=A-B)	増減率 D(=C/B)	30年度 E	29年度 F	増減額 G(=E-F)	増減率 H(=G/F)
市	37,803,662	38,684,036	△880,374	△2.3	44,292,289	45,081,624	△789,335	△1.8
町村	41,224,481	42,059,193	△834,712	△2.0	43,865,106	44,821,536	△956,430	△2.1
市町村分計	79,028,143	80,743,229	△1,715,086	△2.1	88,157,395	89,903,160	△1,745,765	△1.9
(参考)県分	130,173,971	133,852,929	△3,678,958	△2.7	145,211,392	150,215,873	△5,004,481	△3.3

※ 臨時財政対策債：地方一般財源の不足に対処するための特例地方債（後年度の普通交付税で全額措置予定）

2 本県市町村分の主な増減理由等

(1) 主な増減理由

- 基準財政需要額（臨時財政対策債振替前） 1,496億円（△6億円）（△0.4%）

[増加要因]

- ・鳥取市の中核市移行に伴う経費の増 +8.6億円（皆増）
- ・障がい児保育に要する経費の増（拡充分） +2.2億円（皆増）

[減少要因]

- ・合併算定替(※)の縮減の拡大 △9.6億円（H29：△32.4億円→H30：△42.0億円）
- ・包括算定経費（人口）の減 △8.1億円（△4.9%）
- ・地域経済・雇用対策費の減 △6.9億円（皆減）

（地方財政計画における歳出特別枠の廃止に伴うもの（H29：1,950億円→H30：0億円（廃止）））

※合併算定替

市町村合併に伴う普通交付税上の財源不足額の減少（合併が行われるとスケールメリットが働くものとして算定されるため、一般的には普通交付税額が減少すること）を防止し、合併の障害を除去するため、合併後の一定期間は、当該市町村の普通交付税の額について、合併前の状態で算定した場合の額（旧団体ごとに算定した場合の財源不足額の合算額）を保障する制度。合併後15年間の特例措置だが、平成27年度から平成31年度までの5年間で段階的に縮減し、平成32年度（北栄町は平成33年度）から新市町村単位での算定となる。

- 基準財政収入額 613億円（+11億円）（+1.8%）

(2) 増減率の大きい団体 ※ただし、臨時財政対策債発行可能額を加えたもので前年度と比較

- 日吉津村 +7.8% : 社会福祉費の増、高齢者福祉費の増
- 米子市 Δ 7.0% : 包括算定経費の減、地方消費税交付金の算定基準の変更による増等
- 江府町 Δ 5.6% : 地域経済・雇用対策費の減、固定資産税の増（飲料製造業の倉庫整備）等
- 大山町 Δ 5.2% : 地域経済・雇用対策費の減、固定資産税の増（太陽光発電所整備）等

【参考】平成30年度普通交付税（県分）の交付額の概要

普通交付税の算定において、臨時財政対策債を含めた実質的な普通交付税は、1,452億円となり、前年度に対して Δ 50.0億円となった。前年度との比較においては全国値 Δ 1.3%に対して、本県は Δ 3.3%となった。

<県分の増減理由> ※ただし、臨時財政対策債発行可能額を加えたもので前年度と比較

- 基準財政需要額の減 Δ 24.1億円
 - ・ 平成30年度地方財政計画における歳出特別枠の廃止 (Δ 14.7億円)
 - ・ 中核市への事務移譲による減 (Δ 4.8億円)
 - ・ 包括算定経費の減 (Δ 9.2億円)
- 基準財政収入額の増 +25.7億円
 - ・ 法人事業税の増 (+17.2億円)
 - ・ 地方消費税の増 (+4.0億円)
 - ・ 道府県民税所得割の増 (+2.0億円)

【市町村別普通交付税額】

(単位:千円、%)

区分	普通交付税決定額				普通交付税決定額+臨時財政対策債発行可能額				(参考)
	30年度 A	29年度 (当初算定) B	増減額 C(=A-B)	増減率 D(=C/B)	30年度 E	29年度 (当初算定) F	増減額 G(=E-F)	増減率 H(=G/F)	30年度 臨時財政 対策債発 行可能額
鳥取市	20,854,057	20,836,047	18,010	0.1%	24,102,625	23,945,710	156,915	0.7%	3,248,568
米子市	7,779,246	8,474,982	△ 695,736	△ 8.2%	9,832,495	10,577,187	△ 744,692	△ 7.0%	2,053,249
倉吉市	6,401,144	6,547,422	△ 146,278	△ 2.2%	7,124,627	7,280,231	△ 155,604	△ 2.1%	723,483
境港市	2,769,215	2,825,585	△ 56,370	△ 2.0%	3,232,542	3,278,496	△ 45,954	△ 1.4%	463,327
岩美町	2,736,405	2,650,012	86,393	3.3%	2,923,935	2,836,617	87,318	3.1%	187,530
若桜町	1,727,817	1,740,866	△ 13,049	△ 0.7%	1,806,155	1,821,577	△ 15,422	△ 0.8%	78,338
智頭町	2,551,110	2,505,419	45,691	1.8%	2,695,154	2,650,493	44,661	1.7%	144,044
八頭町	4,875,129	4,953,655	△ 78,526	△ 1.6%	5,144,144	5,236,657	△ 92,513	△ 1.8%	269,015
三朝町	1,957,350	1,967,437	△ 10,087	△ 0.5%	2,075,670	2,089,527	△ 13,857	△ 0.7%	118,320
湯梨浜町	4,015,573	4,096,586	△ 81,013	△ 2.0%	4,266,615	4,352,801	△ 86,186	△ 2.0%	251,042
琴浦町	3,837,149	4,032,231	△ 195,082	△ 4.8%	4,116,254	4,333,598	△ 217,344	△ 5.0%	279,105
北栄町	3,416,615	3,526,700	△ 110,085	△ 3.1%	3,650,124	3,774,217	△ 124,093	△ 3.3%	233,509
日吉津村	386,473	345,464	41,009	11.9%	515,330	478,248	37,082	7.8%	128,857
大山町	4,522,581	4,762,948	△ 240,367	△ 5.0%	4,784,496	5,046,104	△ 261,608	△ 5.2%	261,915
南部町	2,896,478	2,962,335	△ 65,857	△ 2.2%	3,074,633	3,147,638	△ 73,005	△ 2.3%	178,155
伯耆町	3,112,645	3,106,335	6,310	0.2%	3,328,049	3,331,961	△ 3,912	△ 0.1%	215,404
日南町	2,508,159	2,600,638	△ 92,479	△ 3.6%	2,628,770	2,724,920	△ 96,150	△ 3.5%	120,611
日野町	1,559,945	1,624,211	△ 64,266	△ 4.0%	1,641,465	1,711,199	△ 69,734	△ 4.1%	81,520
江府町	1,121,052	1,184,356	△ 63,304	△ 5.3%	1,214,312	1,285,979	△ 71,667	△ 5.6%	93,260
都市計	37,803,662	38,684,036	△ 880,374	△ 2.3%	44,292,289	45,081,624	△ 789,335	△ 1.8%	6,488,627
町村計	41,224,481	42,059,193	△ 834,712	△ 2.0%	43,865,106	44,821,536	△ 956,430	△ 2.1%	2,640,625
県計	79,028,143	80,743,229	△ 1,715,086	△ 2.1%	88,157,395	89,903,160	△ 1,745,765	△ 1.9%	9,129,252

県分	130,173,971	133,852,929	△ 3,678,958	△ 2.7%	145,211,392	150,215,873	△ 5,004,481	△ 3.3%	15,037,421
----	-------------	-------------	-------------	--------	-------------	-------------	-------------	--------	------------

【参考】全国の決定額

(単位:億円、%)

区分	普通交付税決定額				普通交付税決定額+臨時財政対策債発行可能額				(参考)
	平成30年度 A	平成29年度 (当初算定) B	増減額 C(=A-B)	増減率 D(=C/B)	平成30年度 E	平成29年度 (当初算定) F	増減額 G(=E-F)	増減率 H(=G/F)	30年度 臨時財政 対策債発 行可能額
市町村分	69,045	70,977	△ 1,932	△ 2.7%	87,057	89,254	△ 2,197	△ 2.5%	18,012
道府県分	81,435	82,524	△ 1,089	△ 1.3%	103,288	104,699	△ 1,411	△ 1.3%	21,853
計	150,480	153,501	△ 3,021	△ 2.0%	190,345	193,953	△ 3,608	△ 1.9%	39,865

*表示単位未満四捨五入しているため、項目ごとの数値と合計は一致しない。

モンゴルにおけるワールドマスターズゲームズ 2021 関西のPR等について

平成30年8月21日
スポーツ課

グラウンド・ゴルフの聖地化、海外普及の一環として、6月にモンゴルウランバートル市で開催された「アジアグラウンド・ゴルフオープン大会」に県、湯梨浜町、日本グラウンド・ゴルフ協会、県・町グラウンド・ゴルフ協会合同で参加し、ワールドマスターズゲームズ(WMG)2021 関西において本県で開催するグラウンド・ゴルフ競技への誘致等を行うとともに、同大会に参加する諸外国の代表者とグラウンド・ゴルフの普及等について意見交換を行いました。

1 訪問概要

(1) 期 日：平成30年6月28日(木)～7月1日(日)

(2) 場 所：モンゴル国ウランバートル市

訪問者：○鳥取県3名(地域振興部スポーツ課長他)

○湯梨浜町2名(湯梨浜町副町長、みらい創造室長)

○日本グラウンド・ゴルフ協会3名(日本協会長他)

○県・町グラウンド・ゴルフ協会会員7名(県協会長他4名、湯梨浜町協会3名)

計15名



2 アジアグラウンド・ゴルフオープン大会(初開催)

期 日	平成30年6月29日(金)～30日(土)
主 催	ウランバートル市、モンゴルナショナルグラウンド・ゴルフ連盟他
参加人数	選手約465名(うち本県選手15名)
参加国	モンゴル、トルコ、トルクメニスタン、ウズベキスタン、チェコ、ポーランド、フィリピン、インド、ラオス、ロシア、中国(内モンゴル)、日本 計12カ国

《WMG2021 関西及びグラウンド・ゴルフPR活動》

大会会場内にPRデスクを設置し、WMG2021 関西のPRグッズ(うちわ等)やグラウンド・ゴルフプレーガイドの配布を行い、WMG2021 関西への参加を呼びかけたところ、参加選手のほとんどが手に取り興味を示していた。



3 各国代表者との意見交換会

(1) 期 日：平成30年6月29日(金)

(2) 参加国：7カ国(モンゴル、ポーランド、ハンガリー、インド、ロシア、中国、日本)

(3) 日本側の発言：○WMG2021 関西をPRし、参加を呼びかけた。

○海外における用具不足解消に向け、ガバメント・クラウドファンディングを立ち上げて、資金を募っていることを報告した。

○国際組織設立に向け、検討委員会を設立することを提案した。

(4) 主な意見：○国際化に向けてSNSを使って情報発信したい。(インド)

○来年の6月にポーランドで大会を開催したい。(ポーランド)

○日本から用具を調達するのはコスト面でも大変難しいのでできる限り自分たちで作って普及を進めていきたい。(ロシア)

○国際大会についてもWMG2021 関西の参加区分に近い形で開催する必要がでてくる。WMG2021 関西に参加できるよう頑張っていきたい。(モンゴル)



スポーツによる共生社会実現を目指した拠点整備についての日本財団承認について

平成30年8月21日
スポーツ課

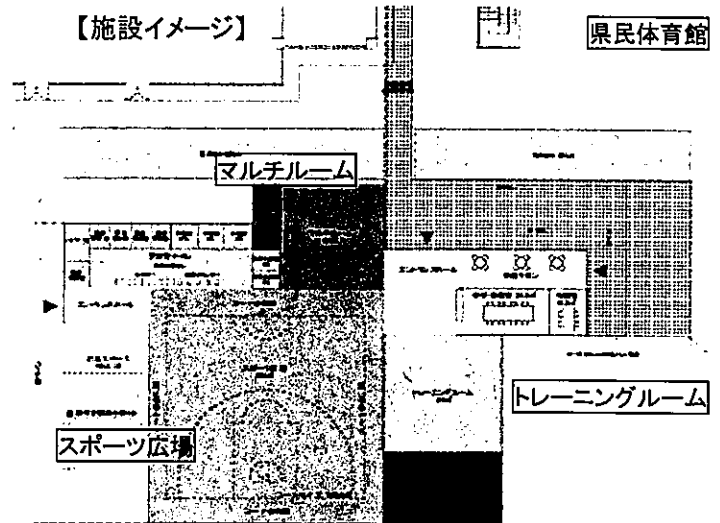
日本財団との共同プロジェクトにより検討を行ってきた布勢総合運動公園におけるスポーツによる共生社会実現を目指した拠点整備については、6月26日に開催された日本財団理事会において事業承認が行われ、国土交通省の事業承認を得て7月6日付けで事業採択となりました。

1 承認された内容

施設規模 延べ床面積約750㎡ 採択事業費 291,950千円

スポーツ広場	324㎡	バスケットコート半面サイズ
トレーニングルーム	81㎡	障がい者の利用が可能な運動器具を13台完備（予定）
マルチルーム	64㎡	障がい児や重度障がい者の利用を想定
事務室、交流サロン他	281㎡	

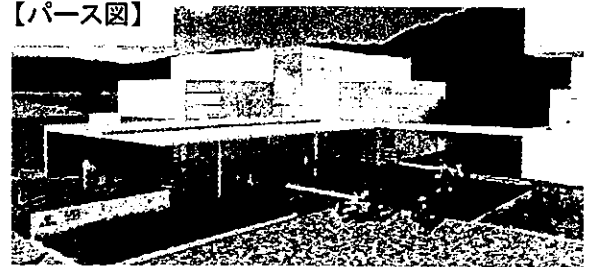
2 施設の概要



3 スケジュール（予定）

- H30. 9月～12月 設計（基本設計及び詳細設計）
- H31. 1月～12月 建設工事
- H32. 1月 竣工（施設オープンについては調整中）

【パース図】



4 先行して行っている事業（県障がい者スポーツ協会に委託）

- 障がい者スポーツプロデューサーの配置（H30. 4. 1配置済、理学療法士有資格者、元病院勤務）
- 障がい者スポーツを支える人材の育成
（理学療法士、特別支援学校教員、スポーツ推進委員等を対象にした障がい者スポーツ講習会を準備中）
- 障がい者スポーツ競技団体及び障がい福祉事業所のニーズ把握
（競技団体の現状やニーズ確認、福祉事業所の現状やスポーツ導入のための手法を確認）

5 今後の取組内容

新たな拠点施設の整備を契機として、スポーツを通じた共生社会を実現のための取組を進める。

- 障がい者スポーツを指導する人材育成のための検討委員会設置
- 新たな拠点の管理運営検討委員会の設置（管理運営体制の検討）
- 新たな拠点に対する障がい者及びその保護者、関係者等からの意見聴取
- 施設内に配備するスポーツ用品、備品等の検討 等

県スポーツ指導員の第22回世界相撲選手権大会優勝について

平成30年8月21日
ス ポ ー ツ 課

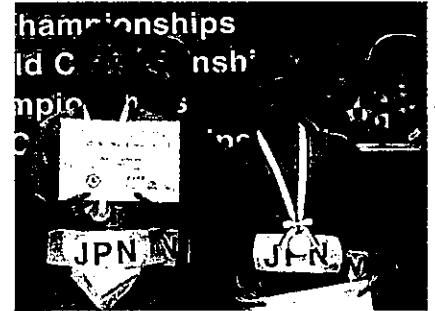
7月22日にチャイニーズタイペイ（台湾）桃園（タオユェン）市で開催された「第22回世界相撲選手権大会」で、鳥取県庁のスポーツ指導員である西郷智博（さいごうともひろ）選手が団体戦の大將として出場し、日本チームの優勝に大きく貢献しました。個人戦でも3位と健闘しました。

1 大会概要

【第22回世界相撲選手権大会】⇒個人戦・団体戦

- ・開催期日：平成30年7月22日（日）
- ・会 場：チャイニーズタイペイ（台湾）
桃園市 タオユェン・アリーナ
- ・結 果：個人 無差別級 西郷智博 3位
団体 日本 優勝（日本の優勝は3大会ぶり）

※これに先立って同地で行われた第13回アジア相撲選手権大会で、西郷選手は個人無差別級に出場し、優勝した。



【団体優勝メンバー 後列右:西郷選手】

2 選手プロフィール

西郷 智博（さいごうともひろ）

- ・26歳 岐阜県出身（182cm、180kg）
- ・鳥取城北高校、日本大学出身
鳥取県庁スポーツ課スポーツ指導員（平成27年4月から）
- ・H28年の岩手国体で個人優勝、H29年の愛媛国体で個人3位
- ・H29全日本実業団相撲選手権大会 個人準優勝
- ・H29年12月全日本相撲選手権優勝 アマチュア横綱



【個人無差別級3位 右:西郷選手】

3 世界相撲選手権大会の試合の様子

※団体戦は先鋒、中堅、大將の3人で構成される。

- ・結果：優勝
- ・対戦：決勝（対 ロシア）
 - 先鋒 負
 - 中堅 勝
 - 大將 勝 ⇒西郷選手

団体戦決勝について

日本チームメンバー

- ①先鋒 城山聖羅（しろやま せいら）東洋大学
- ②中堅 三輪隼人（みわ はやと）新潟県
- ③大將 西郷智博（さいごうともひろ）鳥取県

決勝の相手は世界選手権大会団体2連覇中のロシア。1対1で迎えた大將戦に、西郷選手が登場。自分より大きな相手（身長 200cm、体重 240kg）に堂々と上手投げで勝ち、日本の優勝を決めた。世界の巨漢相手に対して、特に重圧のかかる大將として日本のアマチュア横綱の意地を見せ、堂々とした戦いぶりであった。

・試合後の西郷智博選手の公式コメント

「日本の優勝に貢献できてよかった。今回の試合が大きな経験になったので、その経験を活かして今後も頑張りたい。」

参 考

・平成30年度の主な大会結果と今後の出場大会予定

- ① 西日本実業団相撲選手権2部 6月24日 団体優勝：鳥取県庁（西郷、佐々木） 個人優勝：西郷智博
- ② アジア相撲選手権 7月20日 個人優勝：西郷智博
- ③ 世界相撲選手権 7月22日 団体優勝：日本（城山、三輪、西郷） 個人3位：西郷智博
- ④ 全日本実業団相撲選手権 9月16日 堺市
- ⑤ 国民体育大会 9月30日～10月2日 福井県
- ⑥ 全日本相撲選手権大会 12月2日 東京都 H29優勝

・鳥取県スポーツ顕彰 表彰対象（世界相撲選手権大会団体優勝、個人3位）⇒ 表彰式の期日は未定

ジャマイカ陸上競技セミナーの開催について

平成 30 年 8 月 21 日
ス ポ ー ツ 課

ジャマイカ陸上競技連盟と鳥取陸上競技協会の友好交流の一環として、ジャマイカ陸上関係者が来県し、小中高生と指導者を対象にした「ジャマイカ陸上競技セミナー」を県内 2 箇所（鳥取、米子）で開催しました。

※小学生を対象としたセミナーを倉吉で開催する予定であったが、台風 12 号の接近により中止した。倉吉のセミナーに参加予定だった小学生 9 名は米子でのセミナーに参加した。

1 来県団

氏名	性別	年齢	備考
ガース ゲイル (団長)	男性	55 歳	ジャマイカ陸上競技連盟 専務理事
デイビッド ライリー	男性	45 歳	ジャマイカ陸上競技コーチ協会会長
マイケル マッキントッシュ	男性	45 歳	コーチ

2 ジャマイカ陸上競技セミナーの概要

日	会場	時間	対象者	参加人数	内容
7 月 28 日 (土)	カ・コ・ホ・ト・ラ・ズ・ジ・ャ・パ・ン ス・ポ・ー・ツ・パ・ー・ク陸上競技場	10:00~12:00	中高生	84 名	実技指導
		13:30~15:30	指導者	15 名	講義
7 月 29 日 (日) 台風のため中止	倉吉市営陸上競技場	10:00~12:00	小学生	68 名	実技指導
7 月 30 日 (月)	どらドラパーク米子 陸上競技場	10:00~12:00	小中高生	35 名	実技指導

3 セミナーの内容

- ◆実技指導 (小中高生対象) : ジャマイカ式ウォーミングアップ、フォームの確認、抵抗負荷をかけたスプリントドリル等
- ◆講義 (指導者対象) : トレーニング理論、ジャマイカでの指導方法、質疑応答

4 参加者の感想等

【アンケート結果 (実技指導)】

- 1) セミナーの内容 とても良かった : 80% 良かった : 19% (全体の99%)
2) また参加したいか ぜひ参加したい : 61% 参加したい : 31% (全体の92%)

【小中高生の感想】

- ・トップレベルの練習ができて、とても勉強になった。少しだが世界と日本の差がわかった。
- ・普段あまり長時間かけない体づくり・フォームの確認を丁寧に教えてくださって、本当に良い時間になった。学んだことを競技で活かして、オリンピックで活躍したい。
- ・自分の足りない部分が発見でき、これからの練習や試合に役立つと思った。
- ・教わった動きをしたらすごく体が動きやすく、怪我で沈んでいた気持ちが少しよくなった。
- ・とてもよいセミナーで参加する価値がとてもあった。今後もこのような会をたくさん開いてほしい。

【指導者の感想】

- ・世界のトップの指導者の言葉、考え方を聴くだけで十分勉強になる。
- ・ジャマイカのケーススタディや、ジャマイカ独自の方法・取組があれば学びたい。

5 ジャマイカ陸上競技連盟のコメント

- ゲイル専務理事 : 鳥取県から日本代表選手が生まれるよう、ジャマイカもできる限りの協力をする。
- ライリーコーチ、マッキントッシュコーチ : 指導者はトレーニングに必要な様々な理論を理解し、実験を重ねながら指導力を高めることが大切。参加者の中にオリンピックを目指せる有望な選手がいた。今後を期待している。



スポーツクライミング日本代表合宿（倉吉体育文化会館）の結果について

平成30年8月21日
スポーツ課

昨年、日本オリンピック委員会（JOC）認定競技別強化センター（スポーツクライミング）に認定された県立倉吉体育文化会館において、7月31日（火）から8月2日（木）の間、スポーツクライミング日本代表合宿（非公開）が行われました。スポーツクライミングの聖地を目指して、大会・合宿誘致に取り組んでいる中、本県における初めての日本代表合宿となりました。

記

1. 合宿の概要（取材・撮影不可）

(1) 合宿期間 平成30年7月31日（火）から8月2日（木） 3日間

(2) メンバー

- ・スポーツクライミング日本代表選手 9名
- ・日本山岳・スポーツクライミング協会 選手強化委員長 安井 博志 ほか

《合宿選手リスト》

氏名	代表カテゴリー等	主な世界ランキング
野口 啓代	第2期JMSCA オリンピック強化選手、ワールドカップ2018派遣対象選手(L,B,S)	2018W杯(B) 暫定2位
野中 生萌	第2期JMSCA オリンピック強化選手、ワールドカップ2018派遣対象選手(L,B,S)	2018W杯(B) 暫定1位
檜崎 智亜	第2期JMSCA オリンピック強化選手、ワールドカップ2018派遣対象選手(L,B,S)	2017W杯総合優勝
藤井 快	第2期JMSCA オリンピック強化選手、ワールドカップ2018派遣対象選手(L,B,S)	2017W杯総合3位
緒方 良行	第2期JMSCA オリンピック強化選手、ワールドカップ2018派遣対象選手(L,B,S)	2017W杯(B) 8位
杉本 怜	ワールドカップ2018 派遣対象選手(B)	2018W杯(B) 暫定3位
高田 知堯	ワールドカップ2018 派遣対象選手(B) ※鳥取県在住	2018W杯(B) 暫定7位
渡部 桂太	ワールドカップ2018 派遣対象選手(B)	2017W杯(B) 4位
高田こころ	世界ユース選手権大会2018 派遣対象選手 ※鳥取県出身	2017アジアユース(B) 優勝

※表中、Lはリード種目、Bはボルダリング種目、Sはスピード種目。

2. 知事激励訪問（取材・撮影可）

(1) 日時 平成30年7月31日（火） 午後2時45分から3時05分まで

(2) 場所 倉吉体育文化会館 屋外リード壁前

(3) 訪問者 平井知事、倉吉市：山崎副市長、県体育協会：中永会長

(4) 主な内容

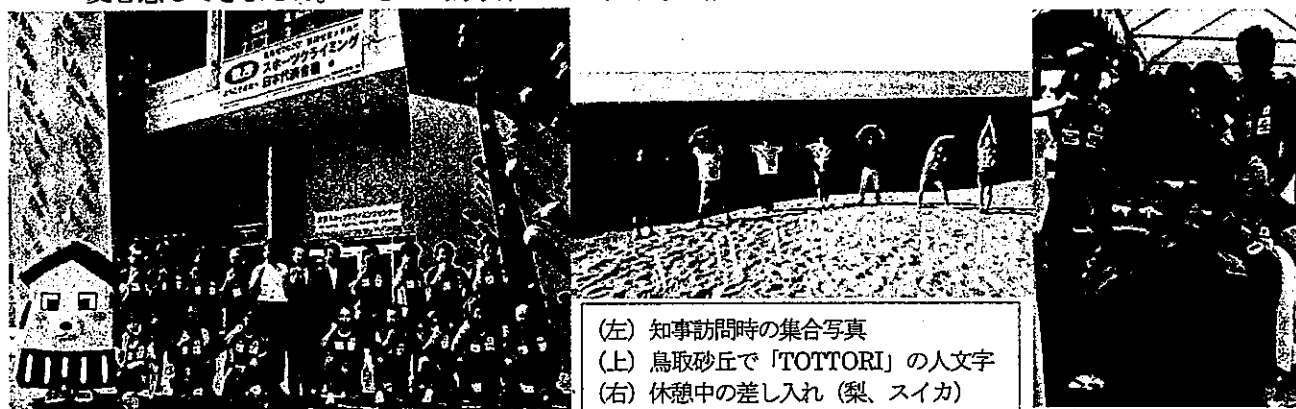
- ・合宿の様子（スピード種目）を視察
- ・知事 歓迎・激励あいさつ
- ・選手代表（野口啓代選手）あいさつ
- ・地元特産品等贈呈・写真撮影（県：梨「夏さやか」等、倉吉市：スイカ、県体協：スポーツドリンク）

3. 情報発信等

合宿を終えた選手の中には、合宿の様子や鳥取砂丘、鳥取砂丘コナン空港での写真を自身のインスタグラム（SNS）に投稿する等、スポーツクライミングの好適地であることや、鳥取県の観光情報が広く国内外へ発信された。

《野口啓代選手（フォロワー約6.4万人）のコメント》

「日本代表合宿～もうこれで暑さ対策はバッチリ。トレーニングも初上陸の鳥取観光も充実！！思いっきり夏を感じてきました。…そして鳥取県の方々、手厚い歓迎ありがとうございました」



(左) 知事訪問時の集合写真
(上) 鳥取砂丘で「TOTTORI」の人文字
(右) 休憩中の差し入れ（梨、スイカ）